

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（リサイクル班）	グループ名	1 類型	
ねらい	(1)回収から納品までの作業工程を覚え、決められた作業する。 (2)状況に応じた、報告・相談を行い、他者に気持ちを表現する力を身に付ける。 (3)役割や作業手順に見通しをたて、落ち着いて作業する態度を養う。			
担当教員	○中熊 康生			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	リサイクル班の作業を確認しよう 状況に応じた報告をしよう 状況に応じた報告をしよう	90	○活動内容の確認 ◆作業内容・準備・日誌の記入・発表方法・片付けを教員と一緒に 行うことができる。 ○得意な方法で、状況に応じた返事・挨拶・報告を行うことができる。 ◆自己の方法で、状況に応じたコミュニケーションを図ることができる。 ◆身振りや手振り等で、「できました」「手伝ってください」などの報告や相談ができる。 □自己決定・自己選択をしやすい言葉掛けをする。 ○リサイクル作業工程や手順の習得 作業内容①：缶・ペットボトルの回収、洗い、分別、圧縮、納品 作業内容②：牛乳パックのリサイクル 作業内容③：ペットボトルキャップの仕分け 作業内容④：粗大ごみの解体、分別 ◆自分の役割を理解して、決められた時間作業することができる。 □作業工程を分け、それぞれの活躍があることで、成果に繋がることを視覚的に示す。 □個人目標、達成目標を明確にし、成果を確認する。	
10 11 12	羽ばたき祭に向けて準備をしよう	80	○羽ばたき祭準備 ◆身近な支援者となる教員とお互いの相互理解のうえで催しものを考え、準備することができる。 ◆看板・ポスター・グッズの作成 □作業を端的具体的に示し、分担して作業をしやすい環境を設定する。 □一人一人の役割を明確にし、始まりや終わりをわかりやすくする	
1 2 3	一人でやってみよう 一年を振り返ろう	40	○リサイクル作業 ◆少ない支援でできる限り、一人で気持ちを安定させて作業することができる。 □少ない言葉掛け、少ない支援を心掛け、見守る時間を設けるようにする。 ○一年間のまとめ ◆一年間を振り返り、「頑張ったこと」を発表することができる。 □空き缶処理の総額、活動の様子をスライドショー等で示す。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（リサイクル班）	グループ名	2 類型	
ねらい	(1)回収から納品までの作業工程を覚え、決められた作業する。 (2)状況に応じた、報告・相談を行い、他者に気持ちを表現する力を身に付ける。 (3)役割や作業手順に見通しをたて、落ち着いて作業する態度を養う。			
担当教員	○中熊 康生			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	リサイクル班の作業を確認しよう 状況に応じた報告をしよう 状況に応じた報告をしよう	90	○活動内容の確認 ◆作業内容・準備・日誌の記入・発表方法・片付けを行うことができる。 □状況に応じた言葉を選んで周囲の人と関わる場面を設定する。 ○状況に応じた返事・挨拶・報告を行うことができる。 ◆状況に応じたコミュニケーションを図ることができる。 ◆「できました」「手伝ってください」などの報告や相談ができる。 □自己決定・自己選択をしやすい言葉掛けをする。 ○リサイクル作業工程や手順の習得 作業内容①：缶・ペットボトルの回収、洗い、分別、圧縮、納品 作業内容②：牛乳パックのリサイクル 作業内容③：ペットボトルキャップの仕分け 作業内容④：粗大ごみの解体、分別 ◆自分の役割を理解して、決められた時間作業することができる。 □それぞれの活躍があることで、成果に繋がることを視覚的に示す。 □個人目標、達成目標を明確にし、成果を確認する。	
10 11 12	羽ばたき祭に向けて準備をしよう	80	○羽ばたき祭準備 ◆身近な支援者となる教員とお互いの相互理解のうえで催しものを考え、準備することができる。 ◆看板・ポスター・グッズの作成 □作業を端的具体的に示し、分担して作業をしやすい環境を設定する。 □一人一人の役割を明確にし、始まりや終わりをわかりやすくする。	
1 2 3	一人でやってみよう 一年を振り返ろう	40	○リサイクル作業 ◆少ない支援でできる限り、一人で作業することができる。 □少ない言葉掛け、少ない支援を心掛け、見守る時間を設けるようにする。 ○一年間のまとめ ◆一年間を振り返り、「頑張ったこと」を発表することができる。 □空き缶処理の総額、活動の様子をスライドショー等で示す。	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（総合キャリア班）	グループ名	1 類型	
ねらい	(1)自分達の作業が人の役に立つことを知り、働く楽しさと意欲をもつ。 (2)補助具や道具を安全に使用し、一人で作業に取り組むことができる。 (3)将来に向けていろいろな作業を経験し、できることを増やす。			
担当教員	○藤田 隆之			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 8 9	新しい環境で 仕事をしよう 販売会に向け て	61 12 18	○挨拶、報告、連絡、相談などの仕方 ○基本作業（切る、折る、貼るなど） ○製品作り（収穫、袋作り、シール貼りなど） ○資源分類、他班との合同作業など ◆新しい教員や仲間を覚え、作業の流れに見通しをもつ。 ◆自分達の仕事が人の役に立っていることを知る。 ◆得意な作業や、一人でできる作業を確かなものにする。 □具体的な場面を通して挨拶や報告の仕方を練習する。 □一人ひとりの実態に合わせた教材、補助具を使用したり補助具を外したりして調整する。 □道具や部材の置き場所を視覚的に分かりやすくする。	
10 11 12 1 2	文化祭に向け て 販売会に向け て	20 29 61	○挨拶、報告、連絡、相談などの仕方 ○製品作り（袋作り、計量、シーラー止めなど） ○羽ばたき祭に向けた販売練習、袋詰め、会場準備 ○資源分類、他班との合同作業など ○ベルマーク仕分け作業 ◆文化祭に向けて準備した物が使われたり、自分達で作った製品を販売したりすることで働く楽しさや喜びを知る。 ◆製品を丁寧に扱う意識をもつ。 ◆一緒に作業をしている仲間を意識した仕事をする。 ◆得意な作業や、一人でできる作業を確かなものにする。 □販売数などの目標を設定し作業意欲を高める。 □製品作りの工程や進捗状況を視覚的に分かりやすくする。 □毎時間の目標設定と振り返りを個別に行う。	
3	次年度に向け て	9	○製品作り（袋作り、計量、シーラー止めなど） ○教材作成（ラベル、ラミネートなど） ○資源分類、他班との合同作業など ○1年間の振り返りを行う。 ◆卒業後の生活や仕事に向けて得意なことや課題について知る。 ◆感想や反省などを発表したり聞いたりすることで1年間の仕事を振り返ることができる。 □毎時間の目標設定と振り返りを個別に行う。 □1年間で行った作業や場面が分かるように視覚的に示す。	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（総合キャリア班）	グループ名	2 類型	
ねらい	(1)自分達の作業が人の役に立つことを知り、働く楽しさと意欲をもつ。 (2)補助具や道具を安全に使用し、一人で作業に取り組むことができる。 (3)将来に向けていろいろな作業を経験し、できることを増やす。			
担当教員	○藤田 隆之			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 8 9	新しい環境で 仕事をしよう 販売会に向け て	61 12 18	○挨拶、報告、連絡、相談などの仕方 ○基本作業（切る、折る、貼るなど） ○製品作り（収穫、袋作り、シール張りなど） ○資源分類、他班との合同作業など ◆新しい教員や仲間を覚え、作業の流れに見通しをもつ。 ◆自分達の仕事が人の役に立っていることを知る。 ◆得意な作業や、一人でできる作業を確かなものにする。 □具体的な場面を通して挨拶や報告の仕方を練習する。 □一人ひとりの実態に合わせた教材、補助具を使用したり補助具を外したりして調整する。 □道具や部材の置き場所を視覚的に分かりやすくする。	
10 11 12 1 2	文化祭に向け て 販売会に向け て	20 29 61	○挨拶、報告、連絡、相談などの仕方 ○製品作り（袋作り、計量、シーラー止めなど） ○羽ばたき祭に向けた販売練習、袋詰め、会場準備 ○資源分類、他班との合同作業など ○ベルマーク仕分け作業 ◆文化祭に向けて準備した物が使われたり、自分達で作った製品を販売したりすることで働く楽しさや喜びを知る。 ◆製品を丁寧に扱う意識をもつ。 ◆一緒に作業をしている仲間を意識した仕事をする。 ◆得意な作業や、一人でできる作業を確かなものにする。 □販売数などの目標を設定し作業意欲を高める。 □製品作りの工程や進捗状況を視覚的に分かりやすくする。 □毎時間の目標設定と振り返りを個別に行う。	
3	次年度に向け て	9	○製品作り（袋作り、計量、シーラー止めなど） ○教材作成（ラベル、ラミネートなど） ○資源分類、他班との合同作業など ○1年間の振り返りを行う。 ◆卒業後の生活や仕事に向けて得意なことや課題について知る。 ◆感想や反省などを発表したり聞いたりすることで1年間の仕事を振り返ることができる。 □毎時間の目標設定と振り返りを個別に行う。 □1年間で行った作業や場面が分かるように視覚的に示す。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（クリーンサービス班）	グループ名	1 類型	
ねらい	(1) 「○○の仕事ならば私に任せてください」「□□仕事をして楽しい」等、具体的なモチベーションを保ちながら、働く意欲を育む。 (2) 軽作業、洗濯作業、清掃作業を通して、社会で働くための力をつける。 (3) 仲間と一緒に協力して働く力を養う。			
担当教員	○堀田 豊			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	学校の中をきれいにしよう	85	○今年度のクリーンサービス班について ○洗濯作業・清掃作業 ○資機材 ○タオル ○スクイージー ○掃除機がけ ◆何を、どのようにして、どの程度まで作業するのか明確に意識して正確に作業を行う。 □到達目標を示しつつ、生徒のペースを尊重する。	
	軽作業・事務作業作業をやってみよう	50	○教員等から依頼のあった場所の軽作業・事務作業 ◆「きれいにする」「お客様のために」という意識を身に付ける。 □仕事をする雰囲気大切に。	
10 11 12	自分の力で仕事をしよう 確認や報告を大切にしよう	40	○軽作業・洗濯作業・清掃作業 ◆準備から片付けまで、できるだけ自分の力で活動をする。 □準備と片付けができるように、活動の継続性と分かりやすさに配慮する。 □自主性を引き出すような言葉掛けや雰囲気を大切に。 ○軽作業・洗濯作業・清掃作業 ◆ペアや小集団で、相手を意識して仕事をする。 □ペアやグルーピングに配慮する。	
1 2 3	責任をもって仕事をしよう	35	○軽作業・洗濯作業・清掃作業 ◆自信と責任をもって、決められた仕事をやり遂げる。 □意欲を最大限引き出すように、仕事内容や人間関係に配慮する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（クリーンサービス班）	グループ名	2類型	
ねらい	(1) 「○○の仕事ならば私に任せてください」「□□仕事をして楽しい」等、具体的なモチベーションを保ちながら、働く意欲を育む。 (2) 軽作業、洗濯作業、清掃作業を通して、社会で働くための力をつける。 (3) 仲間と一緒に協力して働く力を養う。			
担当教員	○堀田 豊			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	学校の中をきれいにしよう	85	○今年度のクリーンサービス班について ○洗濯作業・清掃作業 ○資機材 ○タオル ○スクイージー ○掃除機がけ ◆何を、どのようにして、どの程度まで作業するのか明確に意識して正確に作業を行う。 □到達目標を示しつつ、生徒のペースを尊重する。	
	軽作業・事務作業をやってみよう	50	○教員等から依頼のあった場所の軽作業・事務作業 ◆「きれいにする」「お客様のために」という意識を身に付ける。 □仕事をする雰囲気大切に。	
10 11 12	自分の力で仕事をしよう 確認や報告を大切にしよう	40	○軽作業・洗濯作業・清掃作業 ◆準備から片付けまで、できるだけ自分の力で活動をする。 □準備と片付けができるように、活動の継続性と分かりやすさに配慮する。 □自主性を引き出すような言葉掛けや雰囲気を大切に。	
1 2 3	責任をもって仕事をしよう	35	○軽作業・洗濯作業・清掃作業 ◆自信と責任をもって、決められた仕事をやり遂げる。 □意欲を最大限引き出すように、仕事内容や人間関係に配慮する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（クリーンサービス班）	グループ名	3類型	
ねらい	(1)挨拶、返事、報告、協力、持続力など職業生活に必要な態度を身に付ける。 (2)働くために必要なルールやマナー、資機材の正しい使い方を身に付ける。 (3)仲間や教員とのやり取りを通じ、対人関係を構築する方法を身に付ける。			
担当教員	○堀田 豊			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7	クリーンサービス班の仕事を後輩に伝えよう	60	○今年度のクリーンサービス班について ○サービス業として求められるルールやマナー、清掃作業の方法や流れについて ○資機材 ○タオル ○ダスタークロス ○スクイージー ○モップ ○掃除機がけ ◆後輩に対して伝えることで、自分の仕事の正確性をより高める。 □下級生と良い雰囲気の中で活動できるように配慮する。	
前期	依頼作業をやってみよう①	50	○教員等から依頼のあった場所の清掃・事務作業・会場設営等 ◆何を、どのようにして、どの程度まで作業するのか明確に意識して正確に作業を行う。 □到達目標を示しつつ、生徒のペースを尊重する。	
10 11	文化祭に向けた準備をしよう	30	○文化祭で行う活動の準備 ◆接客用語や接客の方法を身に付け、実習等に生かせるようにする。 ◆どうすれば仲間と力が発揮できるか、考えながら活動する。 □自分の役割を理解し、自発性が出るように指導する。	
後期	依頼作業をやってみよう②	60	○教員等から依頼のあった場所の清掃・事務作業・会場設営等 ◆正確にやり遂げるという意識をもつ。 ○地域の施設等の清掃 ◆メモをとる、手順を守る、記録をとる、時間を守る等を意識し、正確に行う。 □正確性を意識できるように指導する。	
10 11 12 1	目標をもって作業しよう	60	○様々な場所の清掃 ◆安全で効率的な作業ができる。 □主体性と協力する意識をもって活動できるように指導する。	
2 3	卒業に向けて	20	○3年間お世話になった校舎の清掃 ◆自分が担当する箇所を、責任をもってきれいにする。 □個々の能力が発揮されるような配置・役割分担を工夫する。	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年		
教科等名	作業学習(窯業班)	グループ名	1 類型		
ねらい	(1) 繰り返し行う中で挨拶、返事、報告等働く時に必要な力を自分なりに身に付ける。 (2) 補助具や道具を安全に使用し、一定時間集中して作業することができる。 (3) 見通しを持って作業を続け、完成の喜びや作業をする達成感を知る。				
担当教員	○中村 薫				
年間授業時数	210 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元名	時数	○学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考	
4	窯業の作業について知ろう	26	○自分の分担を理解し丁寧に製作をする力 ※ ・粘土再生・成形作業(砕き、粘土作り、型起こし) ・素焼き作業(やすり、スポンジ) ・釉薬がけ作業(釉薬選定、釉かけ) ・清掃・販売準備・販売反省 ◆自分の担当工程を知り、作業の流れに見通しをもつ。 ◆挨拶、返事、報告を自分なりに相手に伝えられる。 ◆みんなと協力して作業、清掃、片付けに取り組む。 □具体的な場面を通じて挨拶や返事、報告の仕方を練習する。 □一人ひとりの実態に合わせた道具、補助具を作成し調整する。 □道具や部材の置き場所を視覚的に分かりやすくする。		
5	分業の製品作りに慣れよう	43			
6	製品作りを振り返って	6			
7	製品作りを振り返って	6			
9	新しい製品を作ろう	26		○周囲の友達と言葉を掛け合い協力しての製品製作	
10				※内容同上	
11	文化祭に向けた製品作り	31		◆自分の担当工程を知り、集中して取り組める。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。 ◆みんなと協力して作業、清掃、片付けに取り組む。 ◆次回の課題を知り、課題を解決しようとする気持ちを育む。	
	販売会を振り返って	6	□工程ごとの班に分かれているが、言葉を掛け合うことにより同じ製品を作っているという一体感を感じられるようにする。 □販売数などの目標を設定し作業意欲を高める。 □毎時間の目標設定と振り返りを個別に行う。		
12	製品会議をしよう	18	○必要な報告、相談を自ら行いながらの製品制作		
1	販売会に向けた製品作りをしよう	26	○ニーズに応じた製品作り ○1年間の活動のまとめ ※内容同上		
2	自分にできることを探そう	22	◆自分の担当工程を知り責任をもって取り組む。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。 ◆みんなと協力して作業、清掃、片付けに取り組む。		
3	販売会を振り返って	6	◆働く楽しさを知り、意欲をもって作業できる。 □毎時間の目標設定と振り返りを個別に行う。 □1年間で行った作業や場面が分かるように視覚的に示す。		

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習(窯業班)	グループ名	2類型	
ねらい	(1) 繰り返し行う中で挨拶、返事、報告、体力等働く時に必要な力を付ける。 (2) 作業の時間集中できるようになり、持続性を身に付ける。 (3) 見通しを持って作業を続け、完成の喜びや協力することの大切さを知る。			
担当教員	○中村 薫			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元名	時数	○学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4	窯業の作業について知ろう	26	○自分の分担を理解し丁寧に製作をする力	
5	分業の製品作りに慣れよう	43	※ <ul style="list-style-type: none"> ・粘土再生・成形作業(砕き、粘土作り、型起こし) ・素焼き作業(やすり、スポンジ) ・釉薬かけ作業(釉薬選定、釉かけ) ・清掃・販売準備・販売反省 	
6				
7	製品作りを振り返って	6	◆自ら進んで日誌の記入、道具の準備等行うことができる。 ◆自分の担当工程を知り、集中して取り組める。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。 ◆みんなと協力して作業、清掃、片付けに取り組む。 □ヤスリ等での仕上げ方を指で確認し、見本を用意するなどしてわかりやすくする。 □複数で施釉にあたり、浸す時間をカウントするなどして、時間の調整をできるようにする。 □製品になるまでの充実感を感じられるようにさせる。	
9	新しい製品を作ろう	26	○周囲の友達と言葉を掛け合い協力しての製品製作	
10			○場に応じた言葉遣いの習得	
11	文化祭に向けた製品作り	31	※内容同上 ◆自分の担当工程を知り、集中して取り組める。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。 ◆みんなと協力して作業、清掃、片付けに取り組む。	
	販売会を振り返って	6	◆次回の課題を知り、課題を解決しようとする気持ちを育む。 □工程ごとの班に分かれているが、言葉を掛け合うことにより同じ製品を作っているという一体感を感じられるようにする。 □販売会を振り返ることにより、普段の作業の先には学校の外の人とつながっていることが分かるようにする。	

12	製品会議をしよう	18	○必要な報告、相談を自ら行いながらの製品制作
1	販売会に向けた製品作りをしよう	26	○ニーズに応じた製品作り
2	自分にできることを探そう	22	○1年間の活動のまとめ ※内容同上 ◆自分の担当工程を知り責任をもって取り組む。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。 ◆みんなと協力して作業、清掃、片付けに取り組む。 ◆次回の課題を知り、課題を解決しようとする気持ちを育む。
3	販売会を振り返って	6	◆働く楽しさを知り、意欲をもって作業できる。 □定期的に担当の分担を変更し、自分に合った仕事を知り、難しい仕事も繰り返すとできるようになる体験を通じて、レジリエンスをつけられるようにする。

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習(窯業班)	グループ名	3類型	
ねらい	(1) 挨拶・返事・報告等働く時に必要となる基本的な力を身に付ける。 (2) 自分の分担を理解し作業する集中力や体力、仲間と協力して作業する協調性や責任感を育成する。 (3) 窯業班の基本的な技能や手順を理解し、丁寧に作業できる力を養う。			
担当教員	○中村 薫			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元名	時数	○学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4	窯業の作業について教えよう	32	○自分の分担を理解し丁寧に製作をする力	
5	分業の製品作りに責任をもとう	54	※ ・粘土再生・成形作業(砕き、粘土作り、型起こし) ・素焼き作業(やすり、スポンジ) ・釉薬かけ作業(釉薬選定、釉かけ)・窯入れ、窯出し作業 ・清掃・在庫管理・製品管理・販売準備・販売反省	
6				
7	製品作りを振り返って	6	◆自分の担当工程を理解し、集中して取り組める。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。 ◆自分の分担に責任をもち、みんなと協力して作業することができる。 □ヤスリ等での仕上げ方を指で確認し、見本を用意するなどしてわかりやすくする。 □定期的に確認を行い、一定の品質が把持できるようにする。 □ハウ・レン・ソウを行う場面を設定し、自主的に行えるようにする。	
9	新しい製品を作ろう	32	○周囲と言葉を掛け合い、協力しての製品製作	
10			○場に応じた言葉遣いの習得	
11	文化祭に向けた製品作り	60	※内容同上 ◆自分の担当工程を理解し、集中して取り組める。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。	
	販売会を振り返って	6	◆自分の分担に責任をもち、作業、清掃、片付けに取り組む。 ◆次回の課題を知り、課題を解決しようとする気持ちを育む。 □工程ごとの班に分かれているが、言葉を掛け合うことにより同じ製品を作っているという一体感を感じられるようにする。 □販売会を振り返ることにより、普段の作業の先には学校の外の人とつながっていることが分かるようにする。	
12	製品会議をしよう	24	○必要な報告、相談を自ら行いながらの製品制作	
1	販売会に向けた製品作りをしよう	32	○ニーズに応じた製品作り	
2	自分にできる	28	○1年間の活動のまとめ ※内容同上 ◆自分の担当工程を知り責任をもって取り組む。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉での的確	

3	ることを探 そう 販売会を振 り返って	6	に行うことができる。 ◆自分の分担に責任をもち、中心となって作業、清掃、片付けに取り組む。 ◆次回の課題を知り、課題を解決しようとする気持ちを育む。 ◆働く楽しさを知り、意欲をもって作業できる。 <input type="checkbox"/> 定期的に担当の分担を変更し、自分に合った仕事を知り、難しい仕事も繰り返すとできるようになる体験を通してレジリエンスをつけられるようにする。	
---	------------------------------	---	--	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第3学年
教科等名	作業学習（農園芸班）		グループ名	2 類型
ねらい	(1) 働くために必要な基本的な態度や体力を身に付ける。 (2) 作業工程を分担することで自分の役割を理解し、責任感を育てる。 (3) 作業に必要な道具の安全な使用法と手入れを学ぶ。 (4) 販売を目指した製品を作り、達成感を味わう。			
担当教員	○松本 憲光			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	野菜や草花の栽培準備をしよう （環境整備・畑の準備）	45	○除草や土運び ○腐葉土作り ○長靴・軍手洗い ◆環境を整備し、働く場所を整頓する気持ちを育てる。 ◆自分の持ち物の洗い方、扱い方を知る。 □後輩と作業を進め、作業の見本となる場を設定する。 ○耕起、施肥、畝作り ○校内外の緑化作業（草花類の植栽作業及び管理） ◆自分の作業分担を理解し、仲間と協力して土づくりを行う。 □後輩に伝えやすいように視覚的に分かるよう説明する。	
6 7	野菜（夏野菜）や草花を栽培しよう	60	○夏野菜の播種及び定植、栽培管理及び収穫作業 ◆作業の役割分担を意識し、仲間と連携し言葉を掛け合いながら作業を行う。 ◆収穫した野菜や作物は食品加工班に提供することで、作業に達成感や働く意欲を感じる。 □作業分担を明確にし、工程表を用いて作業をすすめる。	
9	野菜（冬野菜）や草花を栽培しよう	24	○冬野菜の播種及び定植、栽培管理 ◆作業の役割分担を意識し、仲間と連携し言葉を掛け合いながら作業を行う。 ◆収穫した野菜や作物は食品加工班に提供することで、作業に達成感や働く意欲を感じる。 □分担を明確にし、手順書や工程表を用いて作業をすすめる。	
10 11 12	文化祭で販売しよう	44	○販売準備と実施 ○苔玉の製作・販売 ○ハーブ類の加工と製品の製作 ○販売に向けた野菜の収穫作業と販売準備 ◆自分たちが作った物を販売することで、働くことへの喜びややりがいを感じる。 □自分の分担や作業内容を明確にする。	
1 2 3	次年度に向けて、農園の準備をしよう	37	○次年度の栽培に向けての畑の整備（天地返し、石灰散布、堆肥散布、畝の区画整備 腐葉土作り） ◆一年間のまとめを行いながら、次年度に向けて栽培活動の見通しをもつ。 □手順書や工程表を用いて作業をすすめる。 ○校内外を装飾する草花の栽培管理 ◆花を育てることは、校内外を装飾することであると理解することで、働く意欲をもつ。 □栽培管理を通じて、働く理由やその意味を伝える。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（農園芸班）	グループ名	3類型	
ねらい	(1) 働くために必要な基本的な態度や体力を身に付け、適切な人間関係を育てる。 (2) 作業道具や資材の基本的な使用方法を理解し、自ら考えて行動する態度を養う。 (3) より高度な作業工程を経験し、作業の達成感や使命感を味わう。 (4) 販売活動に向け、生産物の品質を追求するとともに、社会参加の充実を味わう。			
担当教員	○松本 憲光			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	野菜や草花の栽培準備をしよう （環境整備・畑の準備）	46	○除草や土運び○腐葉土作り○長靴・軍手洗い ◆環境を整備し、働く場所を整頓する気持ちを育てる。 ◆自分の持ち物の洗い方、扱い方を知る。 □後輩に向けて作業の見本や助言を行える場を多く設定する。 ○耕起、施肥、畝作り、播種及び定植作業 ○校内外の緑花作業の計画と実施 ◆自分の作業分担を理解し、仲間と協力して土づくりを行う。 □グループのリーダーとして、主体的に取り組む場を作る。	
6 7	野菜（夏野菜）や草花を栽培しよう	80	○夏野菜の栽培管理○農業資材を使用した管理作業（支柱立て、ネット張り） ○トマト類の摘心・摘果作業○夏野菜の収穫及び調製作業○販売準備（袋詰めなど） ○レジスターの操作 ◆作業の役割分担を意識し、アドバイスを得ながら、自ら考えて作業を行う。 ◆班内のリーダーとして、仲間をまとめる力をつける。 □作業内容についてメモを使って伝え、その内容を仲間に分かりやすく伝達する場を毎回設定する。その際、不明事項は必ず質問するよう促す。	
9	野菜（冬野菜）や草花を栽培しよう	29	○冬野菜栽培に向けた畑の準備、ダイコン、葉物類の播種作業及び栽培管理○農業資材を使った管理作業（トンネルの設置等） ○学校内外の植栽計画と管理（花卉球根の定植） ◆アドバイスを得ながら、自ら考えて作業を行い、作業に使命感を感じる。 ◆班内のリーダーとして、仲間をまとめる力をつける。 □作業内容についてメモを使って伝え、その内容を仲間に分かりやすく伝達する場を毎回設定する。その際、不明事項は必ず質問するよう促す。	
10 11 12	文化祭で販売しよう	50	○苔玉の製作・販売 ○ハーブ製品の加工 ○販売に向けた作物の収穫、調製作業及び販売準備 ○販売準備（値札作り、PC機器を使用した商品説明、販売方法） ○野菜・ハーブ製品等の販売○レジスターの操作	

			<p>◆販売のリーダーとして、仲間をまとめる。</p> <p>□販売会をまとめ、主体的に取り組める場面を多く設定する。</p>	
1 2 3	次年度に向けて、農園の準備をしよう	75	<p>○次年度の栽培に向けての畑の整備（天地返し、石灰散布、堆肥散布、畝の区画整備）○落葉掃き ○腐葉土作り</p> <p>◆一年間のまとめを行いながら、次年度に向けて栽培活動の見通しをもつ。</p> <p>□作業内容についてメモを使って伝え、その内容を仲間に分かりやすく伝達する場を毎回設定する。その際、不明事項は必ず質問するよう促す。</p> <p>○校内外を装飾する草花の栽培管理</p> <p>◆花を育てることは、校内外を装飾することであると理解することで、働く意欲をもつ。</p> <p>□栽培管理を通じて、働く理由やその意味を伝える。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習(木材加工班)	グループ名	2類型	
ねらい	(1) 挨拶・返事・報告等働く時に必要となる基本的な力を身に付ける。 (2) 自分の分担を理解し、仲間と協力して責任感、集中力や持続力を育成する。 (3) 木材加工班の基本的な技能や手順を理解し、正確に作業できる力を養う。			
担当教員	○橋本 哲朗			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	販売会に向けての 製品作り (テーブルの製作) (ペン立ての製作) (ミニレールの製作) (スマホスタンド製作) (A4木箱の製作)等	70	○自分の分担や生産ラインの理解と木工製品の製作 ・木材切出し→部品加工→組立→仕上げを分業化 ・生産ラインでの製作工程を配置 ◆働くことの意義を理解し、作業に取り組み、働く喜びを味わうことができる。 ◆道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業をすることができる。 ◆自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業をすることができる。 □5Sの徹底を徹底する。	
10 11 12	文化祭に向けての 製品作り (テーブルの製作) (ペン立ての製作) (ミニレールの製作) (スマホスタンド製作) (A4木箱の製作)等	86	○自分の分担する工程の精度を上げることの意識 ・木材切出し→部品加工→組立→仕上げを分業化 ・生産ラインでの製作工程を配置 ◆働くことの意義を理解し、作業に取り組み、働く喜びを味わうことができる。 ◆道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業をすることができる。 ◆自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業をすることができる。 □5Sの徹底を徹底する。	
1 2 3	販売会に向けての 製品作り (テーブルの製作) (ペン立ての製作) (ミニレールの製作) (スマホスタンド製作) (A4木箱の製作)等	54	○作業スピードを上げる 正確 精度 ・木材切出し→部品加工→組立→仕上げを分業化 ・生産ラインでの製作工程を配置 ◆働くことの意義を理解し、作業に取り組み、働く喜びを味わうことができる。 ◆道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業をすることができる。 ◆自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業をすることができる。 □5Sの徹底を徹底する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習(木材加工班)	グループ名	3類型	
ねらい	(1) 挨拶・返事・報告等働く時に必要となる基本的な力を身に付ける。 (2) 自分の分担を理解し、仲間と協力して責任感、集中力や持続力を育成する。 (3) 木材加工班の基本的な技能や手順を理解し、正確に作業できる力を養う。 (4) 立った姿勢で作業をすることにより、働くための体力を付ける。 (5) 機械や工具の操作法を習得し、安全に配慮して作業する態度を養う。			
担当教員	○橋本 哲朗			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	販売会に向けての 製品作り (テーブルの製作) (ペン立ての製作) (ペン立ての製作) (ミニトレの製作) (スマホスタンド製作) (A4木箱の製作)等	92	○自分の分担や生産ラインの理解と木工製品の製作 ・木材切出し→部品加工→組立→仕上げを分業化 ・生産ラインでの製作工程を配置 ◆働くことの意義を理解し、作業に取り組み、働く喜びを味わうことができる。 ◆道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業をすることができる。 ◆自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業をすることができる。 □5Sの徹底を徹底する。 □KYT(危険予知トレーニング)を徹底する。	
10 11 12	文化祭に向けての 製品作り (テーブルの製作) (ペン立ての製作) (ペン立ての製作) (ミニトレの製作) (スマホスタンド製作) (A4木箱の製作)等	118	○自分の分担する工程の精度を上げることの意識 ・木材切出し→部品加工→組立→仕上げを分業化 ・生産ラインでの製作工程を配置 ◆働くことの意義を理解し、作業に取り組み、働く喜びを味わうことができる。 ◆道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業をすることができる。 ◆自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業をすることができる。 □5Sの徹底を徹底する。 □KYT(危険予知トレーニング)を徹底する。	
1 2 3	販売会に向けての 製品作り (テーブルの製作) (ペン立ての製作) (ペン立ての製作) (ミニトレの製作) (スマホスタンド製作) (A4木箱の製作)等	70	○作業スピードを上げる 正確 精度 ・木材切出し→部品加工→組立→仕上げを分業化 ・生産ラインでの製作工程を配置 ◆働くことの意義を理解し、作業に取り組み、働く喜びを味わうことができる。 ◆道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業をすることができる。 ◆自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業をすることができる。 □5Sの徹底を徹底する。 □KYT(危険予知トレーニング)を徹底する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（ハンドクラフト班）	グループ名	2類型	
ねらい	(1) 作業工程を理解し、分業化された自分の作業を丁寧に行う。 (2) 相手意識をもち、協力しながら製品作りに取り組む。 (3) 製品作りを通して、働く上で望ましい態度を身に付ける。			
担当教員	○植松 千絵			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	ハンドクラフト班の作業を確認しよう	30	○活動の確認 ◆作業内容・身支度・作業日誌の記入・話し合いのルール・清掃方法などを理解し積極的に行うことができる。 ◆挨拶・返答・報告・質問・連絡・相談を通して、協力した作業をすることができる。 ○用具の安全な扱い方の確認 ◆用具の安全な扱い方を他者に伝えることができる。 □用具の使用方法の動画の視聴を行い、経験上の注意点を説明する機会を設ける。	
6 7	校内販売会に向けて製品を作ろう	30	○分業化した作業工程に応じた作業活動と協力 〔製品名：ふきん、ヘアアクセリー、コースター、ストラップ、香袋、入浴剤、ハンカチなど〕 ◆一定時間、作業に集中し、販売基準に応じて自ら検品することができる。 ◆目標を意識し、協力して作業に取り組むことができる。 □個人・班の生産目標の設定を行い、作業の進行を確認しながら途中で評価する機会を設ける。	
9	校内販売会に向けて製品を作ろう（羽ばたき祭）	20	○分業化した作業工程に応じた作業活動と協力 〔製品名：ふきん、ヘアアクセリー、コースター、ストラップ、香袋、入浴剤、ハンカチ、ミニツリー、リースなど、他作業班とのコラボレーション製品〕 ◆一定時間、作業に集中し、販売基準に応じて自ら検品することができる。 ◆目標を意識し、協力して作業に取り組むことができる。 ◆分からないことを質問したり、必要な協力を依頼したりすることができる。 □個人・班の生産目標の設定を行い、評価する機会を設ける。	
10 11 12	羽ばたき祭・地域販売会に向けて、製品を作り、地域交流を深めよう（ふれあい祭り、羽ばたき祭）	80	○自身の役割の理解と目標の設定 ◆個人・製品班の目標を意識し、正確な製品を製作することができる。 ○羽ばたき祭準備・評価 ◆羽ばたき祭の自己の役割を理解した上で、ハンドクラフト班全体の目標を検討し評価を行うことができる。 □自己の具体的な目標設定や評価を行うために、昨年度の振り返りや話し合い活動を行う。	

<p>1 2 3</p>	<p>地域販売会 に向けて製 品を作ろう (ショッピング モール など) 年間の振り 返しをしよう</p>	<p>50</p>	<p>○販売目的の理解 ○主体的で丁寧な作業 ◆地域販売会へ向けて、望ましい接客態度を意識し実践することができる。 ○自身の工程の引き継ぎ ◆相手意識をもった説明方法をすることができる。 □説明後に他者評価を受ける機会を設定する。 ○1年間の活動のまとめ ◆1年間の目標の評価を行い、発表することができる。 □年間の振り返りを行った上で評価をする。</p>	
----------------------	--	-----------	--	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（ハンドクラフト班）	グループ名	3類型	
ねらい	(1) 作業工程を理解し、分業化された自分の作業を丁寧に行う。 (2) 協力した製品作りを通して、説明する力を身に付ける。 (3) 喜ばれる製品作りを通して、働く意義や望ましい態度を身に付ける。			
担当教員	○植松 千絵			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	ハンドクラフト班の作業を確認しよう	40	○活動の確認 ◆作業内容・身支度・作業日誌の記入・話し合いのルール・清掃方法などを理解し主体的に行うことができる。 ◆挨拶・返答・報告・質問・連絡・相談等を確実に行うことができる。 ○用具の安全な扱い方の確認 ◆作業の流れや用具の安全な扱い方を他者に説明することができる。 □用具の使用方法の動画の視聴を行い、経験上の注意点を説明する機会を設ける。	
6 7	校内販売会に向けて製品を作ろう	40	○分業化した作業工程に応じた作業活動と協力 〔製品名：ふきん、ヘアアクセリー、コースター、小物入れ、はしいれ、ストラップ、マスクなど〕 ◆一定時間、作業に集中し、販売基準に応じて自ら検品することができる。 ◆目標を意識し、協力して作業に取り組むことができる。 □個人・班の生産目標の設定を行い、作業の進行を確認しながら途中で評価する機会を設ける。	
9	校内販売会に向けて製品を作ろう（羽ばたき祭）	30	○分業化した作業工程に応じた作業活動と協力 〔製品名：ふきん、ヘアアクセリー、帽子、コースター、小物入れ、はしいれ、ストラップ、マスク、ミニツリーなど、他作業班とのコラボレーション製品〕 ◆一定時間、作業に集中し、販売基準に応じて自ら検品することができる。 ◆目標を意識し、協力して作業に取り組むことができる。 ◆必要な協力を主体的に依頼することができる。 □個人・班の生産目標の設定を行い、作業の進行を確認しながら途中で評価する機会を設ける。	
10 11 12	羽ばたき祭・地域販売会に向けて、製品を作り、地域交流を深めよう（ふれあい祭り、羽ばたき祭）	100	○自身の役割の理解と目標の設定 ◆個人・製品班の目標を意識し、効率的に正確な製品を製作することができる。 ○羽ばたき祭準備・評価 ◆羽ばたき祭の自己の役割を理解した上で、ハンドクラフト班全体の目標を検討し評価を行うことができる。 □目標設定の際には、昨年度の羽ばたき祭の記録を視聴する。	

<p>1 2 3</p>	<p>地域販売会 に向けて製 品を作ろう (ショッピング モール など)</p> <p>年間の振り 返りをしよ う</p>	<p>70</p>	<p>○販売目的の理解 ○主体的で丁寧な作業 ◆地域販売会へ向けて、望ましい接客態度を意識し実践することができる。 ○自身の工程の引き継ぎ ◆相手意識をもった説明方法を考え、実践することができる。 □説明後に他者評価を受ける機会を設定する。 ○1年間の活動のまとめ ◆1年間の目標の評価を行い、発表することができる。 □年間の記録の視聴を行った上で評価をする。</p>	
----------------------	---	-----------	--	--

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（食品加工班）	グループ名	2類型	
ねらい	(1)返事、確認、報告、持続力などの職業生活に必要な態度を身に付ける。 (2)教員とのやりとりを中心に適切な対人関係を築く力を育む。 (3)道具の扱いや衛生管理を都度確認しながら適確に作業する力を育成する。			
担当教員	○阪下 香奈			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点）□指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	食品加工班の仕事を後輩に教えよう 販売に向けた製品作り	91	○作業学習や食品加工班の作業内容の振り返りをする ○製品作り（パン・焼き菓子）の流れを1つずつ確認する ◆道具の扱いや作り方、衛生管理について理解し、作業に大まかな見通しをもつ。 ○販売する製品（パン・焼き菓子）の製造をする。 計量→分割→丸め→成形→袋詰めの流れを再確認する。必要に応じて補足説明もする ○仲間や教員と一緒に協力して行う ◆作業工程を分業化し作業台ごとに担当したものを責任をもって作る。 ◆後輩や仲間、教員とやりとりし、協力して作業をする。 □製品作り前に写真やスライド、動画を使用し、イメージをもって取り組めるようにする。教員と実際にやりながら1つ1つ工程を確認する。 □製品作りは繰り返し練習し、必要に応じてポイントを伝えながらサポートをする。	
10 11 12	販売に向けた製品作り 文化祭に向けた製品作り	65	○調理道具の安全な使い方について再確認する ○手洗い、洗浄方法、食品の取り扱いの復習をする ○時間の意識、決められた時間内の製品作りをする ◆必要な材料や道具、作り方について理解する。 ○具や次回分の材料の仕込みを覚える ◆返事や報告、分からない時は相談する。 ◆時間を意識して作業をする。 □一通りの工程を教員が見本を見せながら、教員と取り組みことを通してできることを増やしていく。 □不安な工程を確認しながら、集中的に練習をし、自信をもって取り組めるようにする。	
1 2	技術を高めて販売に向けた	54	○道具の準備・片付け、掃除を確実に行う ○調理器具を正しく使用する	

3	製品作り	<ul style="list-style-type: none"> ◆自ら考え、行動できるように意識をしながら行う。 ○販売に向け質の高い製品の製造をする ◆確実に正確にできるように、指示を理解した上で作業を進める。 ○接客用語と丁寧な接客を行う ◆繰り返し練習をし、身に付ける。 □仲間や後輩と取り組む機会を増やし、協力、確認、報告する力をつけ、自信をもって取り組めるようにしていく。 □作業前にポイントを確認して進める。作業後は自己評価をし、次回の製品作りへ生かす。 	
---	------	---	--

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（食品加工班）	グループ名	3類型	
ねらい	(1)返事、確認、報告、協力、持続力など職業生活に必要な態度を身に付ける。 (2)仲間との協力や教員とのやりとりを通して適切な対人関係を築く力を育む。 (3)道具の扱いや衛生管理を理解した上で適確に作業する力を育成する。			
担当教員	○阪下 香奈			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点）□指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	食品加工班の仕事を後輩に教えよう 販売に向けた製品作り	116	○作業学習や食品加工班の作業内容の振り返りをする ○製品作り（パン・焼き菓子）の流れを確認する ◆道具の扱いや作り方、衛生管理について理解し、作業に大まかな見通しをもつ。 ○販売する製品（パン・焼き菓子）の製造をする 計量→分割→丸め→成形→袋詰めの流れを再確認する ○仲間と一緒に協力して行う ◆作業工程を分業化し作業台ごとに担当したものを責任をもって作る。 ◆後輩や仲間とやりとりし、協力して作業をする。 □製品作り前に写真やスライド、動画を使用し、イメージをもって取り組めるようにする。 □製品作りは繰り返し練習し、都度評価をしながら次の製品作りへ生かす。	
10 11 12	販売に向けた製品作り 文化祭に向けた製品作り	94	○調理道具の安全な使い方について再確認する ○手洗い、洗浄方法、食品の取り扱いの復習をする ○時間の意識、決められた時間内の製品作りをする ◆必要な材料や道具、作り方について理解する。 ○具や次回分の材料の仕込みを覚える ◆返事や報告、分からない時は相談する。 ◆時間を意識して作業をする。 □不安な工程を確認しながら、集中的に練習をし、自信をもって取り組めるようにする。	
1 2 3	技術を高めて販売に向けた製品作り	70	○道具の準備・片付け、掃除を確実に行う ○調理器具を正しく使用する ◆自ら考え、行動できるように意識をしながら行う。 ○販売に向け質の高い製品の製造をする ◆確実に正確にできるように、指示を理解した上で作	

			<p>業を進める。</p> <p>○接客用語と丁寧な接客を行う ◆繰り返し練習をし、身に付ける。</p> <p>□作業前にポイントを確認して進める。作業後は自己評価をし、次回の製品作りへ生かす。</p>	
--	--	--	---	--

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習(オフィスワーク班)	グループ名	3類型	
ねらい	(1)働くために必要な基本的な態度や技術を身に付ける。 (2)仲間と協力し、責任感をもって仕事に取り組むことの大切さを学ぶ。 (3)長時間作業に取り組める体力と集中力・持続力を身に付ける。			
担当教員	○高橋 義弘			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元(題材)名	時数	○学習内容、◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	オリエンテーション オフィスワーク班の基本作業を確実なものにしよう	40	○作業学習や作業態度について ◆卒業後に向けて作業学習で身につけたい力を確認する。 ◆作業する上でのマナーや態度を確認する。 ◆オフィスワーク班の作業やルールについて確認する。 □生徒の実態に合わせて、全体の目標と個人目標を設定する。 □全体の流れや、基本の作業のルーティン化を図り、態度と技術を身に付ける。	
6 7	依頼書を基に仕事をしよう	40	○受注作業、環境整備(印刷、封入、丁合、ポスター掲示、在庫管理など) ◆お客様のために品質を意識した仕事をし、喜ばれる経験を積む。 ◆依頼書を基に工程分析し、見通しをもった仕事をする。 ◆作業内容や工程について仲間と相談しながら進める。 □道具やプリントなど視覚的に分かりやすくし整理しやすくする。 □手順書等を利用し、生徒だけでできるようにする。 □作業チームで工程や作業について打合せする時間を設ける。	
9	依頼書を基に品質を意識した仕事をしよう	29	○受注作業、環境整備(印刷、封入、丁合、ポスター掲示、在庫管理など) ◆依頼書を基に仕事を分析し、工程表を作成する。 ◆お客様を意識し、品質を意識した仕事をする。 ◆お客様とのコミュニケーションを経験する。 □製品の良否や、作業工程を分かりやすくし、ミスをしづらい環境を整える。 □生徒の特性に合った作業の切り出しを行う。	
10 11 12	文化祭でアトラクションを計画しよう	50	○アトラクションの企画、運営、評価 ◆お客様のことを考えて立案する。 ◆一人一人が役割に責任をもって取り組む。 ◆後輩と協力して取り組む。 □自分たちで運営を考えられるように話し合う時間を設定する。 □お客様に喜ばれる経験をし、仕事の意欲につなげる。	

			<input type="checkbox"/> 3年生を中心した係分担をする。	
1	引継ぎをしよう	75	<input type="checkbox"/> 受注作業、環境整備（印刷、封入、丁合、ポスター掲示、在庫管理など） <input checked="" type="checkbox"/> 日々の業務の中で3年生から2年生に引継ぎを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人一人の態度や技術を確かなものにしていく。 <input type="checkbox"/> 作業チームで工程や作業について打合せする時間を設ける。 <input type="checkbox"/> 3年生がサポートできる体制をつくる。 <input type="checkbox"/> できる作業や得意な作業を繰り返し行う。 <input type="checkbox"/> 1年間の振り返りを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 自分の得意なことや課題について知る。 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業を意識して作業に取り組む。 <input type="checkbox"/> 日頃の目標設定や評価に時間を掛ける。 <input type="checkbox"/> 1年間で行った作業や場面が分かるように視覚的に示す。	
2	1年間のまとめと振り返り			
3	卒業に向けて			